

公開講座

「地図が伝える自然の営み」(第3回)

近年頻発する災害の中で、ハザードマップが注目されています。ハザードマップはきわめて有用な情報ですが、自然災害は、ハザードマップが想定した通りに発生することはむしろまれで、場合によっては想定を上回る自然現象により大きな被害が発生することもあります。災害のリスクを理解するためには、自分の足元がどのように成り立ってきたか、今後どのような自然の営みが働くのかを把握することが重要です。これを知る手がかりになるのが地形です。

第3回は、東北大学防災教育国際協働センターが提唱している「学区の地図を活用した災害リスクの理解」を紹介し、さまざまな地図やWebの情報を活用して地形の成り立ちを読み取り、ハザードマップをより深く理解する方法を、具体的事例とともに紹介します。

■ 日時 令和4年7月1日(金) 16:00～17:30

※講演:16:00～17:00／質疑応答:17:00～17:30

■ 会場 (公社)日本測量協会 研修室(東京都文京区小石川一丁目5番1号)

■ 講師 宇根 寛 氏 一般財団法人日本地図センター主任研究員／明治大学文学部・早稲田大学教育学部・青山学院大学地球社会共生学部非常勤講師

参加費 無料

CPDポイント 測量CPD1ポイント

定員15名

申込み方法

[こちらをクリックして、受付システムによりお申込みください](#)

申込み〆切日 6月17日(金)

(定員になり次第締め切らせていただきます)

お問い合わせ メール: open-lc@jsurvey.jp

Tel:03-5684-3357 (担当:遠藤 拓郎)